

浜地克徳スケッチ活動 20 周年記念展

あの日の風景と、スケッチ旅

感動の思いを勢いのまま現場で描くスケッチを続けて 20 年。
そのあゆみとこれから。

移りゆく鹿児島を見つめて

都会の経済優先の生き方に疑問を感じ、鹿児島県
南薩で農業を始めた浜地克徳。その後、始良市
蒲生町へ移り農的生活を支点としつつ目で見た感動を
そのまま画面に写しとるスケッチを 2005 年 に開始。
鹿児島を中心に国内外のスケッチ取材をおこなってきた。



2013 年に描いた西駅市場。その後すぐ取り壊された。



2011 年に描いた魚類市場。今は新しい建物となっている。

- 会期：2026 年 1 月 10 日(土)-18(日)
- 時間：11 時～18 時 会期中無休
- 入場料：無料
- 会場：マルヤガーデンズ 4F ユナイトメントガーデン
- 主催団体：浜地克徳スケッチ活動 20 周年記念展実行委員会
- 後援：マルヤガーデンズ、特定非営利活動法人まちづくり
地域フォーラム・かごしま探検の会 ・一般社団法人タツの子会、
ミニー・メイ法律事務所、プネウマはりきゅう療院、
Bepop デザイン事務所
- 作品点数：約 70 点
- 内容：スケッチ画家“浜地克徳”の絵画作品の展示・販売

「記録」という性質をもつスケッチ作品は同時に
鹿児島の移りゆく姿も捉えていく。

鹿児島が誇る桜島や老舗の商店、繁華街などの
情景も、スケッチした後に取り壊されたり、
なくなっていたりする。そんな移りゆく街の記憶も
作品として残していく。

今回の展示ではスケッチ活動のあゆみとこれからを
7つのテーマで展開。スケッチという技法の魅力
とともに鹿児島や各内外の街や暮らしの中から
見える風景の中から感じ取れる「味わい」を共有
する試みとなります。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社丸屋本社 マルヤガーデンズ事業部 瀬川(えがわ) tel：099-813-8108

もしくは 浜地 克徳 tel：090-9720-3324

浜地克徳スケッチ活動 20 周年記念展

「あの日の風景と、スケッチ旅」

テーマ別構成 「スケッチと街の魅力を巡る旅」

年代を横断してテーマごとに作品を紹介する構成です。

作家の関心の幅やモチーフへの向き合い方を多角的に感じていただけます。

7つのテーマ

第1章：日常の風景をあるがままに（鹿児島島の風景・街角スケッチ）

日常の風景や街角を切り取った作品群。初期の頃のスケッチと現在のスケッチを同時に展示し、画材や線の変化なども楽しめる。移りゆく鹿児島島の姿も共有する。

第2章：料理とお酒と人情と（まちの飲食店スケッチ）

人々が集う場の温かさを描いた作品。人間味あふれる情景が魅力。飲み屋やカフェなど。

第3章：新たな感動を求めて（ヨーロッパスケッチ）

旅で出会った風景を通して、異文化から受けた刺激を感じる作品群。

第4章：異国への思いを馳せて（お酒ボトルと料理スケッチ）

コロナ禍に描かれた、酒瓶や料理という身近な題材に異国への想いを託したシリーズ。

第5章：感動の鮮度を求めて（ブルースケッチ）

青の世界で描かれる風景との対話。地元蒲生の美しさを感動の瞬間をそのままスケッチする。

第6章：人間は美しい（ポートレートスケッチ）

人物の表情や姿を描き、そこに宿る人の美しさを表現。リハビリスケッチのエピソードなど。

第7章：依頼から生まれたスケッチ（依頼スケッチ／印刷物）

「天文館物語」「オーガニック」「高浜蒲鉾 やまきち便り」「Region」など、依頼を受けて制作した作品群を紹介します。印刷物中心に展示し、スケッチが地域の生活の中で生きていることを伝える。